

# 第4回地域キャリア教育支援協議会

# 第4回地域キャリア教育支援協議会 タイムライン

- |               |   |
|---------------|---|
| 10時00分～10時10分 | 三宅課長ご挨拶 & 前回の振り返りと、本日のゴールの確認                      |
| 10時10分～10時30分 | 藤田先生より。キャリア教育の全国動向や注目すべき兆等                        |
| 10時30分～10時35分 | 質疑  |
| 10時35分～10時40分 | <u>議題 1</u><br>プログラム（案）作成プロセスについての説明（ETIC.田中より）   |
| 10時40分～10時45分 | 内容確認 & ポストイット記入タイム                                |
| 10時45分～11時00分 | グループ討議  |
| 11時00分～11時30分 | 全体共有  |
| 11時30分～11時40分 | <u>議題 2</u><br>市民に浸透させていくためにやるべきこと、来年度に向けた取り組みの検討 |
| 11時40分～11時50分 | 来年度事業についての説明（指導企画課 後明さんより）                        |
| 11時50分～12時00分 | ご講評 & 次回ご案内                                       |

# 支援協議会設置の目的

## 1. 横浜の子どもたちの豊かな学びや、より質の高い「自分づくり教育」を実現していくため

- 「横浜市キャリア教育推進プログラム」の作成、配布による企業への啓発活動強化  
⇒ 学校と企業との協働が進みやすいモデル事例、協働ステップ、等の情報発信

## 2. 学校の「協力してほしい」、企業の「協力したい」の相互理解不足を減らしていくため

- 「キャリア教育に関わる教育活動へ協力いただける企業一覧」のブラッシュアップ、数の充実化  
⇒ 学校への情報提供充実により、学校負担の軽減へ

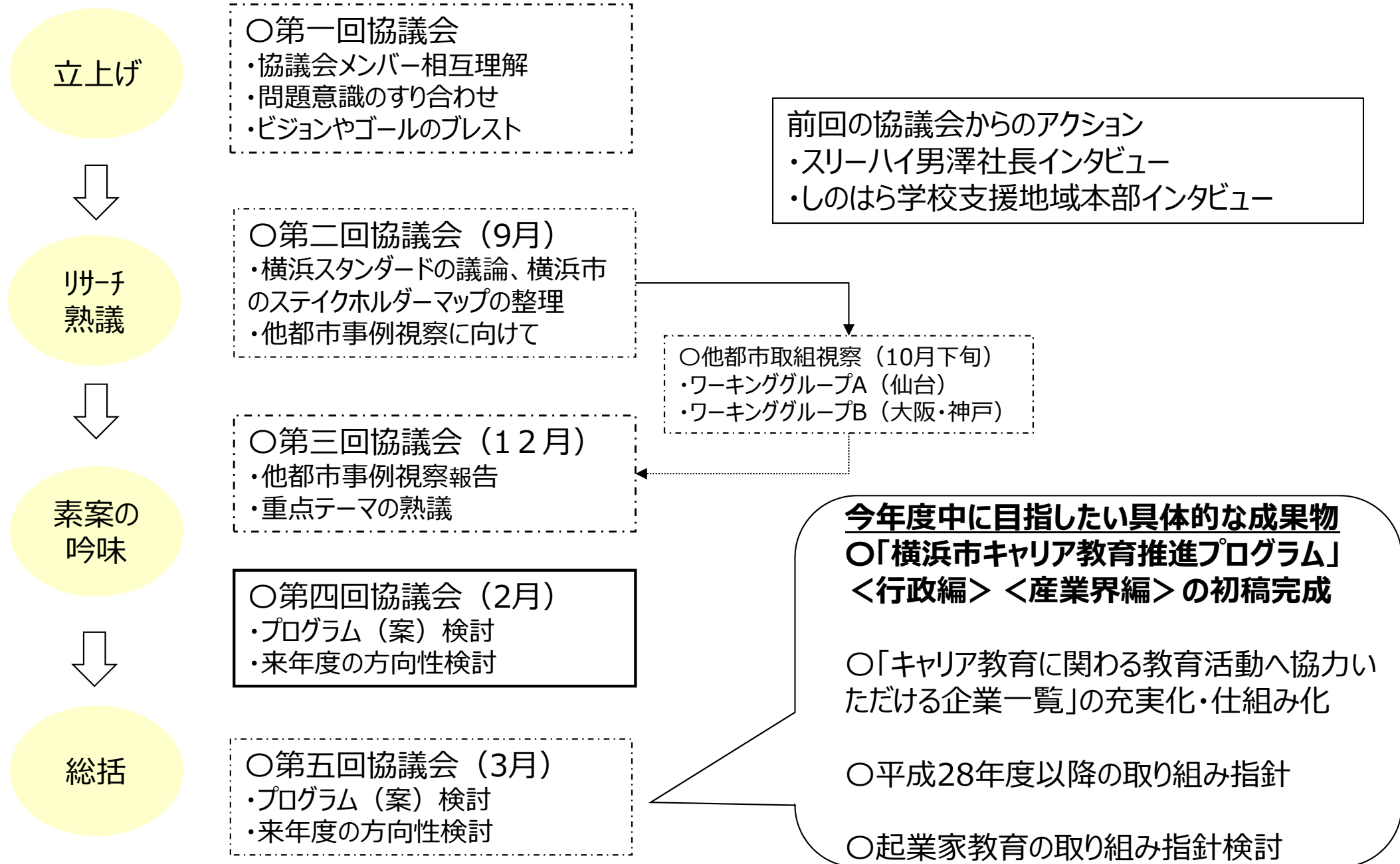
## 3. 未来にわたって継続していける、横浜らしい産・学連携の仕組みを構築していくため

- 学校・地域コーディネーターや、教育委員会、産業界等が、うまく情報共有 & 機能し合えるインフラの検討

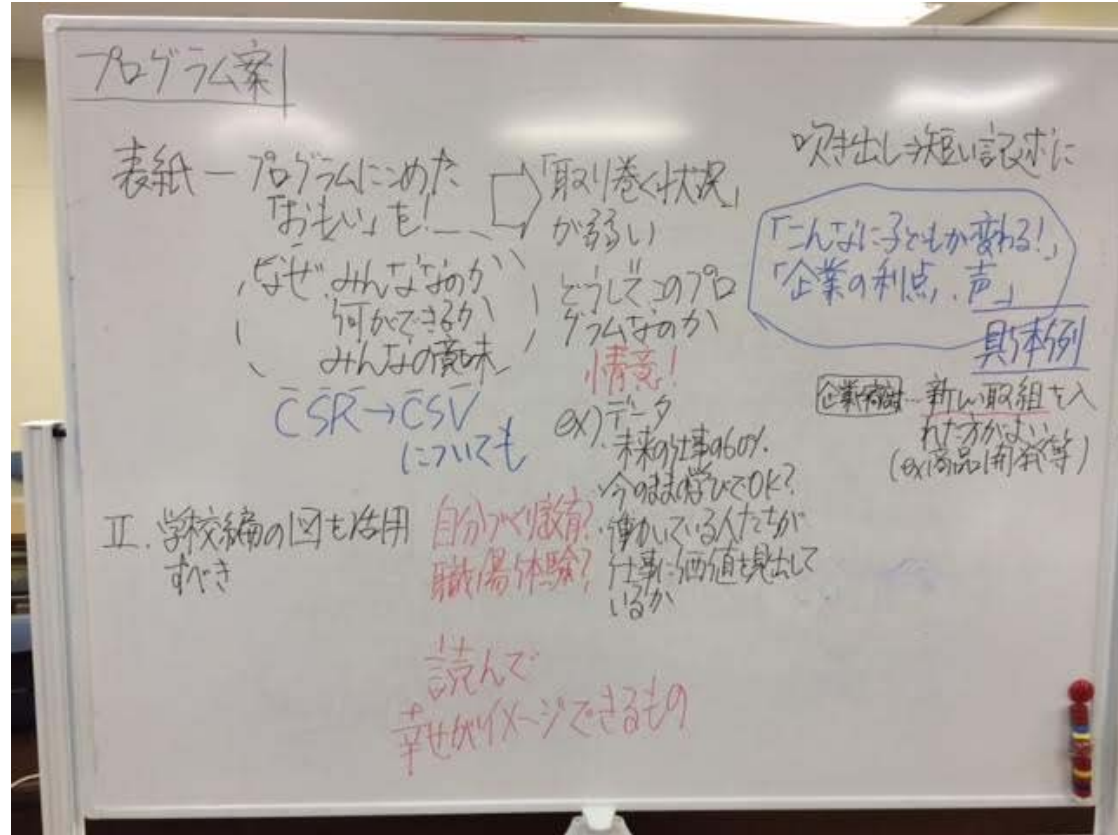
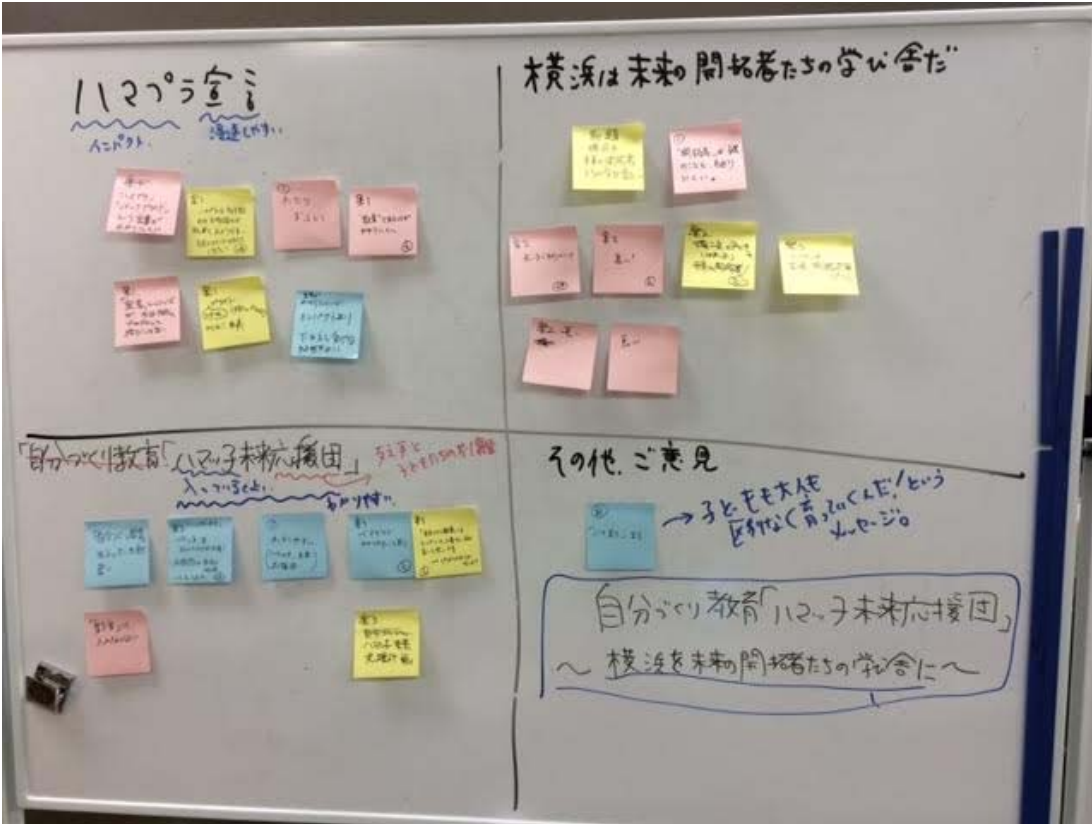
# 上記目的達成のために、議事運営の上でのグランドルール

肩書や役職を（なるべく）外して、率直に意見を言い合う場作りを！

# 今回の協議会の大まかなスケジュール（案）



# 前は視察報告&プログラムのタイトルやコンセプト議論を行いました



## 第3回協議会で頂戴したご意見（抜粋）

ページ2に反映

- ・1が神戸での2つの震災にあたると思うが、弱い。論理的な文章よりも情緒的に「まずいんだ！」と伝える方がいい。
- ・仕事の65%が今ない仕事、みたいなことに触れるとか。地域で生きていく力をつける大切さを伝える。

ページ3に反映

- ・協力を乞うなら、「こんなに変わるんです！」と伝えたい。  
やった企業の人たちの声や利点をしっかり明記すると、営業ツールになる。

ページ4 - 5に反映

- ・今までと何が違うのかがわかりづらい。企業と学校がwin-winの関係を築いていかないといけない、という話がこの協議会でも何度も出ている。新しい兆しの事例などがあるといい。既存の仕組みの説明になるとわかりづらい。
- ・やった企業の人たちの声や利点をしっかり明記すると、営業ツールになる
- ・学校の先生が企業開拓につかえるツールを。
- ・自分教育といいながら、職業体験に終始しているのは論点。

# 議題 I プログラムの全体構成や書かれている内容について

## 考えるべき観点

- ・市民（企業、商店街、保護者、地域社会等）が一体感をもって「自分づくり教育」に取り組もうという機運作りにつながるか。
- ・他にはない、横浜らしさが現れているか。
- ・これまで議論してきた、想いや要素が入っているか？

A) 全体構成やコンセプト、メッセージについて

B) 各ページで気になるところ  
修正が必要な表現等

### 【賛成意見】

- ・●●だから賛成

### 【反対意見】

- ・●●だから反対

### 【提案】

- ・●●だから●●に変えては？
- ・●●の要素も入るとさらにGOOD

## この時間の進め方

- ・5分間、内容確認、シンキングタイム（手元のポストイットにそれぞれの方のご意見をお書きください）  
↓
- ・15分間、グループ討議（A・B 2つの観点で、討議。）  
↓
- ・30分間、全体熟議（前方のホワイトボードにみなさんの意見を張り出しつつ、意見交換）

## 議題Ⅱ プログラム策定後の想定配布先&普及案

プログラム自体（1000部印刷を予定）

- ・市内全公立学校（510校）
- ・4方面事務所&教育委員会各部署
- ・各区役所学校連携担当
- ・地域貢献認定企業等、400社程度

WEB広報

- ・「キャリア教育の広場」の新設、情報発信（別紙参照）。
- ・「キャリア教育支援協議会」舞台裏の熱量を伝える動画

全市広報

- ・広報よこはまへの掲載等

【論点】

横浜市に、このプログラムの内容が浸透し、  
実践されていくために、どのような拡げ方が望ましいか。  
配布先として適切な場所はあるか。



## 次回、第5回地域キャリア教育支援協議会のご案内

第5回協議会 3月7日（月）15：00～17：00

場所：未定（関内、あるいは高島町）

※協議会後の打ち上げご参加について、2時間程度の会を予定しております。



平成27年度 第3回

### 横浜型地域貢献企業 交流会のご案内

横浜型地域貢献企業の皆様との対話の機会を  
3月9日（水）に設ける予定で、  
準備を進めております。

#### 育てよう未来の人財、考えよう横浜の教育 課題解決ダイアログ～教育編～

未来の横浜を担う子供たちの成長のために、企業が  
できることは？横浜市地域キャリア教育支援  
協議会での議論や、教育に携わる人たちの意見を  
踏まえ、企業と学校の連携を考えます。

<内容>

##### ①問題提起

「横浜の子どもたちに託す夢

～これからの時代に必要な《生き抜く力》とは？」

・横浜市立羽沢小学校 齊藤一弥校長先生

～羽沢小学校における起業家教育の取り組み状況、現状～

・NPO 法人まちと学校の未来 理事長 竹原和泉氏 ほか（予定）

##### ②グループ討議

「企業と学校の連携 ～みんなどうしてる？どこが難しい？～」

2016年3月9日（水）

18:30～20:30 18:00 受付

会場：さくらWORKS

横浜市中区相生町3-61 泰生ビル2F  
<http://yokohamalab.jp/sakuraworks/>

参加無料

主催：NPO 法人横浜スタンダード推進協議会

協力：NPO 法人 ETIC、

NPO 法人協同労働協会 OICHI

※本事業は横浜市の経済施策の一環としての補助事業です。